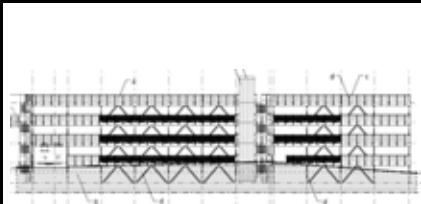


# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	九州厚生年金病院 駐車場棟 新築	階数	地上3F、地下1F
建設地	福岡県北九州市八幡西区岸の浦1	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、22条地域	平均居住人員	557 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	4,500 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年5月 予定	評価の実施日	2012年11月20日
敷地面積	4,337 m <sup>2</sup>	作成者	伊東 正太郎
建築面積	2,721 m <sup>2</sup>	確認日	2012年11月21日
延床面積	10,780 m <sup>2</sup>	確認者	吉永 拓郎



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: A: B+: B: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

建築物の取組み	82%
上記+ 以外のオンサイト手法	82%
上記+ オフサイト手法	82%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	・既存駐車場のアスファルト舗装範囲内で今回の立体駐車場を計画し、周辺に影響のないように配慮した。	その他 0
<b>Q1 室内環境</b>	・室内環境なし	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・既存の樹木等を残し、敷地西側空地に高木・低木併用にて緑地設置。
<b>LR1 エネルギー</b>	・高効率照明を使用することとした。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・計画敷地は、東側からの風が良く吹く為、建物西側に排気ガス対策として高木を設置。
<b>Q2 サービス性能</b>	・駐車場利用者だけでなく、近隣住民の利用を考慮し、車いす対応のELVを設置し、車いす用駐車区画として9区画を、病院本館へ近い位置に設置した。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	・再生クラッシュランを使用した。 ・躯体と仕上げ材が容易に分別できる仕様とした。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい